

上島町消防だより

救急救命士紹介

上島町に3人目の救急救命士が誕生したので紹介します。



森本 和義 消防士長

《心境・抱負》

救急救命東京研修所での半年間の教育終了後、国家試験に合格し、晴れて救急救命士になることができました。胸をなで下ろすとともに責務の重さを感じています。

今後は医療人としての自覚を持ち、より一層の知識と技術を向上させ、町民の皆様信頼していただける救急救命士になりたいと思います。

■救急救命士って？

「救急救命士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、救急救命士の名称を用いて、医師の指示の下に、救急救命処置を行うことのできる者といえます。

「救急救命処置」とは、その症状が著しく悪化するおそれがあり、又はその生命が危険な状態にある傷病者（重度傷病者）が病院等に搬送さ

救急救命士の資格の違い

- 救急標準課程修了者
消防学校で250時間（約2ヶ月）以上の教育を受けた者
- 救急救命士
救急標準課程修了後、5年以上救急業務に従事し、救急救命研修所等において835時間（約半年）以上の教育を受け、国家試験に合格した者



救命処置訓練中

れるまでの間に、当該重度傷病者に対して行われる気道の確保、心拍の回復その他の処置であって、当該重度傷病者の症状の著しい悪化を防止し、又はその生命の危険を回避するために緊急に必要なものをいいます。救急救命士も標準課程修了者も、入校時の教育以外に、自主研修と訓練を継続し、力を合わせて活動しています。町民の皆様安心していただけるよう、署員一丸となって頑張っていますので、救急活動に対するご理解、ご協力をお願いいたします。

家庭でできる

応急手当

火傷（やけど）



■火傷の処置と注意点

- 火傷の進行を止めるため、すぐに水道水を流し患部を充分冷やす。（火傷の原因が取り除かれても、しばらくは深部に障害が広がる。）
- 服を脱がしにくいときは、服の上から水をかけて冷やす。
- 水をかけられない場合は、冷たいタオルや氷（冷却剤）等で冷やす。
- 火傷をした皮膚は感染しやすくなるので、冷却後に清潔なガーゼ・包帯・ラップなどで保護をする。

熱傷の程度別症状

程度	I度熱傷	II度熱傷	III度熱傷
皮膚の状態	・赤くなる	・水ぶくれができる	・白くなる ・黒く焦げる
症状	・ひりひり痛む	・激しく痛む	・痛みがない (神経損傷)
経過	・数日で治る ・跡は残らない	・1~2週間で治る ・跡はただれない	・数ヶ月の治療が必要 ・跡が残る ・皮膚移植が必要な場合もある

消防装備の紹介

「空気呼吸器」

災害現場の活動で、隊員が煙や有毒ガスを吸わないようするための装備です。

空気ボンベ内の空気を吸うことにより、15分〜25分程度（運動量による差）の活動ができ、カラになると空気ボンベを取替えて活動します。



空気呼吸器



装着状況



農業講座

しまなみ農業だより 家庭菜園の冬支度について

最近、暖冬といわれて久しく、冬の暖かさが当たり前のようになってきました。現在の野菜畑は8～9月に植えた野菜類の収穫や越冬させる豆類やたまねぎ、イモ類の収穫後などさまざまかと思えます。年間を通じて効率的に野菜を栽培したいものですが、12月は1年で最も日が短く、寒さが増してくる季節のため、種まきや苗の移植ができるものがあまりありません。無理をすれば春収穫のハウレンソウや苗があれば晩生たまねぎ、トンネルでのレタスなどの移植ができます。今回は、冬の野菜畑の管理について解説します。

■防寒対策

収穫期を迎えている野菜類は、寒さにより味が増してきます。根菜類やキャベツなどは寒さに強いですが、ハクサイやカリフラワーは葉を利用した**防寒**や**花蕾**の保護をします。また、これから生育させる葉もの野菜（春菊、小松菜など）やレタスなどは、布織布（通気性のある）によるべた掛けや透明ビニールなどによるトンネルによる防寒対策が必要です（図参照）。



直径7～8cmに
なったころ

花蕾の保護



(1) 露地べたがけ



播種直後べたがけ

植え付け直後べたがけ

(2) トンネルがけ



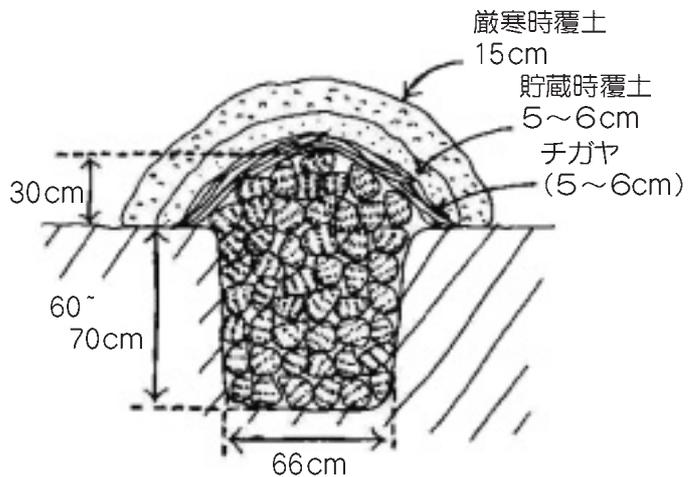
また、イモ類も寒さに弱く、霜が降りるまでには掘り取り、一定温度で貯蔵します。さといもの種芋貯蔵を図示（下図参照）しましたが、少量なら発泡スチロールなどに密閉させ冷暗所で保管もできますが、乾燥しすぎないように注意します。サツマイモは低温による障害が出やすいので貯蔵には注意が必要です。

■冬の間作を利用した土作り

この時期、何も作付けされていない畑は、土地を肥やすため、堆肥や落ち葉などの有機物をすきこんでおきます。

■越冬栽培野菜の管理ポイント

- たまねぎ：1月頃から3月まで肥料を月に1回、化成肥料（15%）で1aあたり2kgほど施用します。雨がなく土の乾燥が続く時は、冬でも灌水が必要です。
- えんどう：竹の枝などを立てて防寒とつるがまきつく準備をします。花が咲き始めたら肥料を少量ずつ施用します。
- そらまめ：株元から芽がたくさんでくるので、1株あたり6本～8本程度に芽を残します。



サツマイモの貯蔵方法